

## 中小企業優秀新技術・新製品賞

### ナガセインテグレッタスなど表彰



宮本企業庁長官(右)から企業庁長官賞を受賞する長瀬ナガセインテグレッタス社長

りそな中小企業振興財団と日刊工業新聞社は18日、第29回中小企業優秀新技術・新製品賞の贈賞式を東京・飯田橋のホテルグランドパレスで開いた。中小企業庁長官賞を受賞したナガセインテグレッタス(岐阜県関市)の「超精密成形平面研削盤 SGC-630P REMIUM」をはじめ、一般、ソフトウェアの両部門で計37件を表彰した。

ナガセインテグレッタスの長瀬幸泰社長は「企業は今日より明日、明日よりあさってと日々、技術の向上に取り組んでいる。日本を代表する先生方に審査いただき、励みになる」と喜びを語った。来賓の宮本聡中小企業庁長官は「新技術で日本全体をけん引してほしい」と祝辞を述べた。

新井民夫審査委員長(東京大学名誉教授)は「たゆまぬ努力によ

る高い技術力や、中小企業らしい興味深い工夫が評価された。モノとコトをつなげた、ユーザーを意識した開発が重要」と講評した。

りそなホールディングスの東和浩社長は「付加価値の高い新技術を開発することが、モノづくりの発展には不可欠」と語った。